

絶滅危惧種イタセンパラを守ろう！

# 第12回 木曽川合同パトロール を実施しました

絶滅危惧種「イタセンパラ」は、国内希少野生動植物種(種の保存法)や国の天然記念物にも指定されている希少な淡水魚です。木曽川、淀川、富山平野のみに分布し、個体数・生息域が減少傾向にあるなか、密漁などの人為的な影響により絶滅の危機が増えています。

イタセンパラの密漁監視、また、その保護の必要性の普及・啓発を目的として、毎年、木曽川水系イタセンパラ保護協議会では、合同パトロールを開催しており、今年も次のとおり実施しました。



イタセンパラ

## 木曽川水系イタセンパラ保護協議会「第12回 木曽川合同パトロール」

- 日時：2020年6月28日（日）10:00～12:00
- 場所：【本部会場】 羽島市防災ステーション前駐車場  
【中継会場】 一宮市尾西歴史民俗資料館  
(WEB会議で両会場を中継)
- 内容：会場にてあいさつ・事前説明・意見交換の後、近傍の木曽川ワンド周辺をパトロール
- 参加：約40名 協議会関係者（岐阜大学、世界淡水魚園水族館アクアトト・ぎふ、岐阜県水産研究所、愛知県、岐阜県、一宮市、羽島市、岐阜県警察、国交省、環境省）、および地域関係者（地域の高校生等）



2020.6.28/パトロール実施状況

## 木曽川水系イタセンパラ保護協議会

(事務局：国土交通省中部地方整備局・環境省中部地方環境事務所)

## ～抜き打ち、2箇所同時中継による合同パトロールを実施～

第12回目となる本年度は、新型コロナウイルス感染症拡散防止に配慮し、例年の参加者公募を見送り、日時を公表せず協議会関係者（岐阜県警察含む）が合同でパトロールを実施しました。

今回のパトロールは、羽島市側のほか一宮市側の協議会メンバー等により、木曽川兩岸の2箇所をオンライン中継を接続して同時のパトロールを実施しました。

総勢約40名が、目立つオレンジ色のたすきを掛け、保全啓発活動が行われていることをアピールしました。協議会では、これらの活動による密漁抑止効果を期待しています。



両会場を中継しての意見交換(WEB会議)

羽島市・一宮市の両会場をWEB会議でつなぎました。一宮市側からの参加者（地域の高校生等）の質問に、羽島市側の参加者（協議会関係者の研究者等）が回答するなど、リモートならではの連携もできました（生物の飼育方法などのアドバイスを受けました）。



木曽川ワンドのパトロール(羽島市内)



木曽川ワンドのパトロール(一宮市内)

### 木曽川水系イタセンパラ保護協議会

(事務局：国土交通省中部地方整備局・環境省中部地方環境事務所)